

お知らせ

<夏のイベント案内>

■ 農泊留学体験

イギリスの大学生と一緒に農作業をしたり、地域行事に参加しながら、英語力とチームワークを身に着けます。英会話のレッスンや観光も含めて楽しめるプログラムです。

8月12(月祝)～18(日)

参加費 50,000円(一般)、35,000円(学生)

■ スカボローフェアのハーブを愉しむ

ハーブの歴史や効能を知り、収穫から加工まで実践的に学びます。ハイライトは収穫した野菜とハーブで美しいガーデンランチ！

8月25日(日)10～14時 定員:15人

講師:瀬川桂子さん 参加費:3000円(ランチ込み)

■ 手作り浄化槽ワークショップ

電気や化学的なものを使わず、微生物の力で生活排水を浄化する仕組みを手作りします。

9月1日(日) 13～17時半

講師:樋口佳樹(日本工業大学) 定員:10人

参加費:1000円

<羊オーナー募集！>

農園の草を食べ、糞を土に返し、子ども達にも人気の羊。オーナーになっていただくと、秋には美味しい羊肉をお届けします。詳しくはHP、FBをご覧ください。

・会費 1口1万円

・定員 20人

・特典 羊肉500gとスパークリングワイン2018(375ml)1本

・羊の様子をお伝えするお手紙を定期的にお届けします。

・餌やりなどお世話の体験をしたい方は、ぜひご相談ください。

・問い合わせ、申し込みは余市エコビレッジまで(裏面)

2019年度会員募集

私たちの活動を支える会員になってください！

正会員1口、あるいはサポート会員2口以上のお申込みで、2018年度エコビレッジスパークリングワイン(375ml)あるいはトマトジュース(500ml)をもれなくプレゼント♪

会員申し込み時にどちらを希望かお伝えください。

- 1 余市エコビレッジで引き渡し
- 2 郵送でお渡し
(送料500円を会費と一緒にお振込みください。)

正会員 年会費一口 10,000円

(総会の議決権があります)

サポート会員 年会費一口 5,000円

・ゆうちょ銀行から

【記号】19070 【番号】38886511

【口座名義】トクヒホッカイドエコビレッジスイシンプロジェクト

・ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと
手数料がお安くなります。

【口座番号】02700-9-85080

【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・北洋銀行から

【口座番号】宮の森支店 普通 4031861

【口座名義】

トクヒホッカイドエコビレッジスイシンプロジェクト

お申込みは下記の余市エコビレッジまで

【余市エコビレッジ】

余市郡余市町登町 1863

*JR余市駅からバスで10分

(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩3分

【Tel/Fax】

0135-22-6666

【Eメールアドレス】

y.
ecocollege@gmail.com

【Webホームページ】



作成・発行

NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

■エコカレッジ:余市町登町 1863

■札幌事務所:札幌市中央区宮ヶ丘 2丁目 1-1-303

(HEPP: Hokkaido Eco-village Promotion Project)

<http://ecovillage.greenwebs.net/>

春の活動報告

4/30~5/2 春のワークキャンプ(WC)

一般、学生、外国人の混成チームの活躍により、畑起こしをしてジャガイモを植えたり、ワインドウのワイヤを張ったり、春一番の農作業が一気に進みました。農作業の合間には、鈴木玲さん(手稲さと川探検隊)のガイドで森にある野草を観察したり、



山菜料理を味わったり、この季節ならではの体験を楽しむことができました。

4/25(木) 緋の衣を食べ継ぐプロジェクト

浅野敏昭さん(余市水産博物館館長)、深江園子さん(フードライター)をゲストに、幻のリンゴと呼ばれる「緋の衣」の勉強会を開催しました。余市の歴史がリンゴとともにあることを学び、その技術や知恵を引き継ぐことの重要性、そのためにスイーツ加工や飲食のプロと連携することの可能性について話し合いました。今年には農家の方々の協力を仰ぎ、接ぎ木でリンゴを増やそうしており、将来が楽しみです！



外国人ボランティア活躍

5月からフランス出身のベン、スイス出身のステファン、ドイツ出身のハナの3名のボランティアが加わって、楽しく過ごしながら農作業やモノづくりをしています。

大量に収穫したヨモギをペーストにする作業をしてもらい、団子づくりにも挑戦しました。ヨモギ団子は町のイベント「ミナクル」でも販売する予定です。



5/14(火) ヒヨコがやってきました！

20羽の生まれたばかりのヒナ(すべてメス)がエコビレッジにやってきました。採卵用のポリスブラウンという茶色い羽根の品種です。到着1週間後には体重58g、2週間後は100g、3週間後は148gと、どんどんと大きく成長しています。

ニワトリは、人間が食べられない食品残渣も飼料として活用できるため、資源の有効活用につながる事が期待されます。

もし、エコビレッジを訪れる方で、古くなって食べられないお米や麦などの穀物・豆類などを提供してもよいという方がいましたら、ぜひご協力ください。



5/28(火) 環境共生型汚水浄化セミナー

日本工業大学の樋口圭樹先生(日本工業大学)を講師としてお迎えし、11名の参加者の方々と、汚水浄化に関するメカニズムについて学びました。大学の講義のような難しい内容でしたが、参加者の方々は熱心にメモを取り、たくさん質問をしていました。

また、2015年からエコビレッジで効果検証を行っている手作り浄化槽については、有機酸(炭素)は効率よく分解できていましたが、窒素やリンは分解できず、まだ改善の余地があることがわかりました。

ディスカッションでは、今後自分の生活の中で活かせる汚水浄化のアイデアについてグループ間で語っていただきました。汚水浄化の汚いイメージを覆す、「可愛い」「役に立つ」アイデア等が出て、会場が盛り上がりました。

次回8月のセミナーでは、浄化システムをバージョンアップさせて実際に製作するワークショップを企画しています。



(本事業は、北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の支援を受けて、実施しています)

余市エコビレッジの新規スタッフ着任！

この春、エコビレッジを卒業した志村さん、鹿俣君に代わって、新しく2名の住み込みスタッフが着任しました。

長谷川 耕史さん

みなさん、はじめまして。こうちゃんこと長谷川耕史です。4月からエコビレッジの力仕事担当・羊飼いスタッフとして活動しています。暮らしていくための農作業や事務作業はもちろん、留学経験をいかして英会話のプログラムを始めたいと思います。

もともと自然、山、農的暮らし、パーマカルチャーに関心がありエコビレッジと出会いました。関心があると言っても実際にそれらの中で暮らすのは人生初なので、知識も乏しく地域の方々の中で知らない言葉が出てくることはしょっちゅうですが、いろいろなことに挑戦して勉強したいと思っていますので、ご教示ください。

8月にはイギリス人学生らとともに、農作業をしたり、地域のイベントに参加する農村留学体験を企画しています。農的暮らしやチームワークを身に着けながら、英語も話せるようになりますよ。



本井 祐太さん

ユータこと本井祐太です。5月から「何でも担当スタッフ」として活動しています。3年前にも、土日の間だけ活動していましたので、ご存じの方もいるかと思います。

エコビレッジでは、私個人のテーマでもある、「青年や子供が、農村部で自然と調和しながら暮らしていける生き方」を目指していきます。これまでお世話になった皆さんに少しでも恩返しできるように、また、一人でも多くの人が、自分が望む生き方を選択し実現できるように、学んだことを活か



し、多くの方々の手助けを借りながら取り組んでいきます。

JICA ボランティア(ソロモン)の

外経験があります。また、以前は札幌で野生動物と関わる仕事をしていました。野鳥観察や狩猟に関する企画などにも取り組みたいと考えています。

トズ！ /お願ひいた！ キオ